



瀬田南の福祉

令和3年1月15日
No.48号
瀬田南学区
社会福祉協議会

地域の誰もが笑顔で心のつながりを感じられる社会を目指して瀬田南学区社会福祉協議会が生まれて30年……
#地域の福祉関連団体と共に歩んで30年……

30
years



瀬田蜆

近江八景で有名な瀬田の唐橋



近江国一之宮建部大社

瀬田南学区は、いにしへの昔、神領村、橋本村と言われ、政治経済の要衝で往還の賑わいのあった場所です。神領村は北に東海道が通り、ヤマトタケルノミコトを御祭神とする近江一之宮建部大社の神料田となっていたことから地名が起り、近江国府域に含まれていたと推定され、その関連遺跡も多くあります。現在の大津市神領、野郷原、三大寺、大江(一部)、瀬田地域です。

橋本村は、神領村の西にあり、名前の由来となった勢多橋は政治交通の要衝で、その勢多橋の維持管理の定役に多くの方がついておられたそうです。

瀬田蜆(しじみ)で栄えた地域でもあります。橋守神社は龍王宮秀郷社と称し、勢多橋の百足退治で俵藤太所縁の地でもあり、琵琶湖の最南端、瀬田川東岸に位置し、川沿いに南北に長い地域です。瀬田の唐橋は日本書紀に登場するほど歴史は古く、「唐橋を制する者は天下を制す」と戦乱の舞台にも多く登場します。近江八景の一つ「瀬田の夕照」に数えられ、「いそがばまわれ」の語源となったことでも有名です(出展 瀬田南歴史文化研究会資料)。歴史ストーリー、おいしい食べ物、そして大自然、清流のオアシスと呼ばれる瀬田南地域には6,831世帯、15,396人(令和2年10月1日現在)の方々に住まいされておられ、この地域でこれからも新たな地域福祉を目指したいと考えます。

高齢者の方たちの老後生活を考えることに、もっとワクワクしたものになりたい。老後を自由で、次の世代が憧れるものになりたい。子どもたちのこれからの生活を考えることにもっと夢のあるものになりたい。そんな皆様が過ごされる瀬田南地域が、みんなで助け合うやさしい地域であってほしい。瀬田南学区社会福祉協議会が設立されて30年になります。

瀬田南学区社会福祉協議会長
安土吉昌

瀬田南学区の特徴 (令和2年10月1日現在)

瀬田南学区の人口

男 7,378人 48%
女 8,018人 52%
合計 15,396人



75歳以上の人口

男 963人
女 1,398人
合計 2,361人

高齢化率(65歳以上人口)

瀬田南 29.7%
(4,574人)
滋賀県 26.3%
日本 28.7%

100歳以上 8人(男1人、女7人)

瀬田南社会福祉協議会 歴代会長

平成3年度～6年度	綾 善三郎
平成7年度～12年度	森 茂樹
平成13年度	福田宗正
平成14年度～20年度	古蒔一成
平成21年度～23年度	安土吉昌
平成24年度	大東 修
平成25年度～26年度	小坂憲二
平成27年度～	安土吉昌

令和2年度 瀬田南学区社会福祉協議会役員

役職	氏名	所属	担当
会長	安土吉昌	ボランティア(西河原)	
副会長	山本 環	ボランティア(松陽)	(兼)事務局長
副会長	小林 浩	学区自治連合会・三大寺連協(三大寺)	福祉委員
副会長	横田 茂	民生委員児童委員協議会(下宮)	福祉委員(兼)子どもカフェ事業
副会長	奥村誠候	神領自治連絡協議会(上宮)	福祉委員
副会長	辻野浩一	橋本自治連絡協議会(東河原)	福祉委員
副会長	井口憲一	松陽自治会(松陽)	福祉委員
理事	横田正弘	ボランティア(東新緑苑)	福祉委員
理事	飛 英雄	ボランティア(松陽)	会計
理事	中江義孝	瀬田南学区老人クラブ連合会(上南浜)	高齢者福祉部

役職	氏名	所属	担当
理事	山岡正幸	瀬田南青少年育成学区民会議(元町)	寺子屋事業
理事	小柳雅恵	民生委員児童委員協議会(瀬田川新緑苑)	ふれあい給食事業
理事	杉岡悦子	大津市赤十字奉仕団瀬田南分団(上宮)	障がい者福祉部
理事	中西美恵子	瀬田南学区健康推進協議会(下宮)	健康福祉部
理事	増淵昭子	瀬田南学区更生保護女性会(中南浜)	児童福祉部
理事	寺田 実	民生委員児童委員協議会(元町)	生活福祉部
理事	三村保雄	ボランティア(下宮)	事務局
理事	黄瀬誠幸	ボランティア(社人堂)	事務局(兼)広報
会計監査	山口昌男	下野郷原自治会(下野郷原)	
会計監査	須見 慧	瀬田南人権・生涯学習推進協議会(下宮)	

本年度は大変苦しい世の中となり、不安の日々の連続でした。ウイルス鎮圧を願い、さらに緊張感を持って、地域の皆様と連携を深め、より慎重に苦境をのりきりたい。



大きな社会環境変化の時代だからこそ 未来を支えてくれる子どもたちにエールを送り続けたい



30 years

子どもたちを登下校等で、温かく見守り活動をしてくださっている方々に、心より感謝申し上げます。青少年育成学区民会議は「みんなで守り育てよう瀬田南の子」を合言葉に子どもたちの健やかな成長を願い、学区内の各種団体及び学校園、PTA等がお互いに協力し、関係機関と連携をはかりながら活動しています。地域の見守り活動や健全育成のための啓発活動の実施。豊かな心を育む体験活動としては、「人形劇の鑑賞」、「工作・おもしろ科学実験教室」、「野菜の植え付け・収穫・調理体験」、「書き初め教室」等を開催しています。地域の子どもの明るい笑顔と元気な声が聞こえる瀬田南学区でありますように、皆様方のご理解とご支援のほどよろしくお願いいたします。

学区社協「寺子屋プロジェクト」は平成29年に学区社協の関係団体や小中高、養護学校教員OB、学区在住の大学生等の協力を得て開始。夏休みの宿題支援や国語、算数のプリントを使った学力の定着を図る教室や瀬田南小学校の「夏休み学習教室“のびっこ”」の学習支援を実施。平成30年度は、大津市教育委員会より熱中症対応について、ご指導があり、夏休み事業は中止。令和元年度は前年度の反省から、年間を通して実施していた「子どもカフェ」事業での宿題支援や漢字、計算問題を使った学習支援を実施。また、年末の「お餅つきをしよう」では子どもたちが杵つき体験をして、自分でついたお餅を食べて大満足。令和2年度はコロナ禍で「こどもカフェ」が開けない状態が続くなか、学区民会議との共催事業を実施。「地域でのつながり」や子どもたちの「居場所」、「学習支援」の場となるよう活動してまいります。ご理解、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

山岡正幸 瀬田南青少年育成学区民会議代表
瀬田南社協理事(寺子屋事業担当)



クリスマス会(人形劇)



クリスマス会
(校長先生とけん玉勝負)



書初めに備えた書道教室

地域に根ざした活動を目指して……

大津市赤十字奉仕団結成から68年、瀬田地区が4学区になって30年。瀬田南学区赤十字奉仕団は唐橋、瀬田城址、近江国庁跡、建部大社と歴史が残る地域で「地域に根ざす奉仕団」として活動しています。建部大社のお祭り前には瀬田川公園と御旅所の中之島公園の清掃奉仕、国庁清掃は地元中学校が企画、小中生や幼稚園児、住民たち総勢約350名が行います。募金活動、防災訓練の炊き出しや献血センターでの活動等、ひとりではできない支援活動を仲間と手を携えて活動しています。救護班の活動を映像で見ると感謝すると同時に赤十字の一員であることへの誇りを抱きます。地域から頼られる奉仕団を目標に活動しています。皆様のご協力をお願いします。

杉岡悦子 大津市赤十字奉仕団瀬田南分団代表
瀬田南青少年育成学区民会議
瀬田南社協理事(障がい者福祉部担当)

今年、大津地区更生保護女性会は創立70年を迎えました。長年、更生の為だけの活動でしたが、今では犯罪予防のための子育て支援活動が主流となっています。平成17年より、龍大の学生(BBS会)と一緒にドラゴンキッズをスタートしました。お兄さん、お姉さんとのふれあいを通じて、楽しい時間を過ごしてほしいと願っています。毎月、第一、第三土曜日に小学校の体育館で、ドッジボール、卓球、バドミントン、リレーなどを楽しんでおり、初めての子どもたちにもじっくり時間をかけ相手をします。子どもたちの上達が早くすぐに追いつかれてしまいます。今年けん玉を購入しました。来年4月の開催までに、校長先生に指導いただき、練習を重ね、子供たちに指導(?)できるように上達したいと思います。

増淵昭子 瀬田南学区更生保護女性会会長
瀬田南社協理事(児童福祉部担当)

コミュニティ・スクールの推進について

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、地域、家庭、学校の三者が力を合わせて、子どもたちの教育環境を充実させるための仕組みです。文科省主導のもと平成30年度現在、全国で5,432校に設置され、瀬田南小学校でも令和元年秋に発足しました。今後は、三者が目指す子ども像を共に考え、各々が役割を分担し、自分たちにできる具体的な活動を考え、実践することが大切です。そこで、地域全体で子どもたちの成長を支える地域学校協働活動本部(平成30年度現在で全国7,437小学校に設置)を立ち上げました。その担い手としてスクールサポーター(学校支援員)の増員準備をしています。地域の皆様に学校支援、行事支援、読み聞かせ、登下校支援など、ご自身で可能な内容や時間で参画して戴きますようお願いいたします。

横田 茂 瀬田南地区民生委員児童委員協議会会長
瀬田南社協副会長(子どもカフェ事業担当)
地域学校協働活動推進員



橋本の木下恵子さんがご厚意で瀬田南社協に多額の寄付をして下さいました。子どもたちの想像力や思考力を活性化させることにつながる読書の機会を増やしてもらえようと、「KISHITA文庫」を整備させていただきたいと思っています。

#瀬田南市民センターの役割と地域福祉連携



瀬田南市民センターは、平成3年の瀬田南学区発足と同時に開設され、30年が経過しました。これまで、瀬田南学区では、一人ひとりの人生を豊かにするため「寺子屋・子どもカフェ・ふれあいサロン・ふれあい給食」など瀬田南学区社会福祉協議会による多様な活動により、地域福祉が大きく発展してまいりました。そして、瀬田南市民センターは、住民自治並びに社会教育及び文化振興などの拠点として、様々な活動を行ってまいりました。しかし、現在の少子高齢化や家族構成の変化、地域や社会の環境

変化に伴って、当学区においても多くの課題に取り組んでいく必要が生じています。これからの地域福祉では、個人、地域の各種団体及び行政が協働し、それぞれの立場で「全員参加」していく社会が求められると考えています。そのためにも、当市民センターは、これからも当学区社会福祉協議会と連携しながら、地域福祉事業の維持と向上、ひいては当学区のより一層の発展に向け、皆様とともに取り組んでまいります。

瀬田南支所長 神山元伸

大変な社会環境変化だから、高齢者の方々には、細やかなやさしいエールを送り続けたい



「ふれあい給食」事業では安心安全及び旬の食材を食べることをテーマに月に一度、手作りのお弁当を持って、民生児童委員が、お一人暮らしの高齢者の方たちのお住いを訪問しています。皆さんの健康状態をお尋ねしての安否確認も目的としています。これは、瀬田南学区が発足する前の瀬田学区の頃から続けられています。長い間の先輩方のご努力と、楽しみに待っていてくださるお年寄りの方々にも少しでも美味しいものを届けたいと頑張って料理を作る調理奉仕のボランティアの方々、民生児童委員、瀬田南学区社協、赤い羽根募金の収益を運営に使わせて戴くこと、すべての皆様に感謝申し上げます。



小柳雅恵 瀬田南地区民生委員児童委員協議会副会長
瀬田南社協理事(ふれあい給食事業担当)

支えあう 住みよい社会 地域から

住みよい街、それは高齢者、障がい者そして子どもに優しい街、関心を寄せあい支え合うことの出来る街。そんな街づくり目指します。

瀬田南地区の民生委員児童委員

西河原、横町、橋本中央	寺田政博
東河原、蛸田	永田キクエ
橋本本町、下南浜	村田全弘
上南浜	吉田勝美
中南浜	神崎宗明
瀬田新緑苑	島田美子
東新緑苑	服部直美
水天宮、椿ハイツ、 ジョウカン、リバーサイド、サンハイム瀬田	了戒和子
瀬田川新緑苑、リウアイ・エール瀬田 セルコート唐橋	小柳雅恵
杉谷、篠部	村田洋一
神領本町、神領北町	森原則男
神領元町	寺田 実
神領下宮	嶋田一恵
神領中宮	安土和子
神領上宮	相川美加子
神領上宮	岸本京子
神領東宮	米下ミサ子
下野郷原	宮田春美
下野郷原	米納國重
上野郷原	松下佳弘
社人堂	杉江雪子
三大寺中央、東、富田	菅本美保
三大寺北C	有田恵子
三大寺西E	森田久義
三大寺西、大江三丁目	山本ひとみ
松陽、瀬田3丁目	青木準子
主任児童委員	井之内敬子
主任児童委員	横田 茂

瀬田南地区老人クラブ連合会では例年ですと、高齢者のための講習会、日帰り研修会等の勉強会を始め、グラウンドゴルフ大会を開催しています。本年に限っては感染症拡大防止の観点から、屋外での実施となるグラウンドゴルフのみの実施となります。現時点では2月に予定しております。



中江義孝 瀬田南学区老人クラブ連合会会長
瀬田南社協理事(高齢者福祉部担当)



ふれあいサロンほほえみを立ち上げて丸12年になりました。サロンは地域の皆様の交流の場です。健康体操をしたり、元気の出る歌を歌ったり、ゲームや手芸などをして過ごす集いの場です。いつも笑顔で人に接すると、自分にも相手にも気持ちが優しく、心が豊かになれることを願ってサロンの名前を「ほほえみ」と名付けました。お陰様で口コミや広報誌で人の輪が広がり多くの方が喜んで参加して戴いています。今年はコロナ禍でお休みもしましたが、地域の方の協力をいただき、コロナ対策を充分行いながら、活動をしています。また、一日も早く、以前のように茶話会ができることを願っています。皆様どうぞお気軽にご参加下さいますよう、スタッフ一同、お待ちしております。

中西美恵子 瀬田南学区健康推進協議会
瀬田南社協理事(ふれあいサロンほほえみ事業担当)





**#瀬田南社協30年、節目にあたって
新たな地域福祉連携を希望しています
「年年歳歳花相似たり
歳歳年年人同じからず」**

30
years

瀬田南学区自治連合会も創立して30年を経て、日々、Withコロナ、新しい生活様式の順応が課題となっています。少子高齢化社会の折、地域の役員を高齢の方から次世代に引継ぎ、今ある行事や会議等を見直し、安全、安心なまちづくりを進めれば、地域の社会教育や福祉面に対する捉え方もこれまでと違って見えてきます。「年年歳歳花相似たり、歳歳年年人同じからず」・・・人の環境は移り変わります。皆で瀬田南を持続可能な新たな地域にしていきたいものです。

瀬田南学区自治連合会会長 山村善則

社協の活動は地域の皆さんに支えられ地域連携福祉が推進されています

瀬田南学区は橋本連絡協議会、神領連絡協議会、三大寺連絡協議会、松陽自治会から構成され、6,831世帯から成り立っています。それぞれの自治会から45名の福祉委員が選出され地域の民生委員児童委員の方々、瀬田南の各種サポート団体(青少年育成学区民会議、赤十字奉仕団瀬田南分団、更生保護女性会、健康推進協議会、老人クラブ連合会、「人権・生涯」学習推進協議会など)の方々と共同で社会福祉協議会の事業を行っています。

社協の事業としては、寺子屋事業、子どもカフェ事業、ふれあいサロン事業、ふれあい給食委員会事業、健康福祉部会、生活福祉部会、高齢者福祉部会、障がい者福祉部会、児童福祉部会のグループがそれぞれ連携しながら、地域福祉の活動を実施しています。活動を支える費用も、各自治会をとおして、地域の皆様から、社協の会員となっただけき会費をお願いする形で支えていただいております。

また、地域の皆さんのお役に立てればという助け合いの気持ちで、赤い羽根共同募金や歳末たすけあい募金にも自治会をとおして協力を寄せてもらっています。

右表の方たちからも大口の赤い羽根共同募金という形で協力をお願いしました。

なお、瀬田南社協の収入の部にあるように、大津市社協助成金の約2/3は、赤い羽根共同募金から、ふれあい給食推進、学区社協基盤強化、福祉のまちづくり講座、広域配分費等の形で瀬田南福祉活動に還元されています。

なお、地域の非営利福祉法人「BRAH=art(ブラフアート)」、「あめんど」、社会福祉法人ノエル福祉会「しごとの家」など、地域の団体からも大いに協力いただいております。

赤い羽根共同募金では皆様から大口の募金を頂戴しました。

- ちかむね動物病院
- (株)エスアイシステム
- (有)唐橋自動車工業所
- (株)パンテック
- (医)八木歯科
- 建部大社
- (医)加藤内科胃腸科
- セブンイレブン神領店
- 奥村管工(株)
- (有)大家
- 近持信男
- (株)寺新鶏肉店
- 日本料理「一心」
- (有)松田造園
- (有)エス・ユーシー・コーポレーション
- (株)平岡組
- (有)「石善」山村石材店
- (株)神領製作所
- フレスコ神領店
- (株)ユニオン工業
- ファッションハウス コンセ
- 「電弘」鈴木保彦
- セブンイレブン瀬田西IC店
- (有)いそせい呉服店
- 寺田 實
- うなぎ料亭「山重」
- 丹波理髪店



瀬田南学区社会福祉協議会

会長
副会長・事務局長
副会長
橋本自治連絡協議会
三大寺自治連絡協議会
神領自治連絡協議会
松陽自治会

会計
会計監査

